

- ☐ ←対応したことは各チェックボックスに印をつける

管理職

- ☐ 現場に到着し次第、リーダーとなる
- ☐ それぞれの役割の確認および指示
- ☐ ★エピペン®の使用または介助
- ☐ 心肺蘇生やAEDを使用

発見者「観察」

- ☐ 子供から離れず観察
- ☐ 助けを呼び、人を集める（大声、PHS、または、他の子供を呼びに行かせる）
- ☐ 教職員A、Bに「準備」「連絡」を依頼
- ☐ 管理者が到着するまでリーダー代行となる
- ☐ ★エピペン®の使用または介助
- ☐ 薬の内服介助
- ☐ 心肺蘇生やAEDの使用

教職員A班「準備」

- ☐ 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」を持ってくる
- ☐ エピペン®の準備
- ☐ 内服薬の準備
- ☐ AEDの準備
- ☐ ★エピペン®の使用または介助
- ☐ 心肺蘇生やAEDを使用

教職員B班「連絡」

- ☐ ★救急車を要請する（119番通報）
- ☐ 管理職を呼ぶ
- ☐ さらに人を集める（校内放送など）
- ☐ 保護者への連絡
- ☐ 調理室への連絡
- （対応に迷ったときは）
- ☐ 市立病院へ緊急コール相談

教職員C「記録」

- ☐ 観察を開始した時刻を記録
- ☐ エピペン®を使用した時刻を記録
- ☐ 内服薬を飲んだ時刻を記録
- ☐ 5分ごとに症状を記録
- ☐ 記録をコピーし救急隊へ渡す

教職員D班「その他」

- ☐ 他の子供への対応
- ☐ 救急車の誘導
- ☐ ★エピペン®の使用または介助
- ☐ 心肺蘇生やAEDの使用
- ☐ 調理室手配表（栄養士、調理室）を準備し、救急隊へ渡す

★エピペン®使用と救急車要請のタイミング

緊急性が高いアレルギー症状

【全身の症状】

- ☐ ぐったり
- ☐ 意識もうろう
- ☐ 尿や便を漏らす
- ☐ 脈が触れにくい
または不規則
- ☐ 唇や爪が青白い

【呼吸器の症状】

- ☐ のどや胸が締め付けられる
- ☐ 声がかすれる
- ☐ 犬が吠えるような咳
- ☐ 息がしにくい
- ☐ 持続する強い咳き込み
- ☐ ゼーゼーする呼吸
（ぜん息発作と区別できない場合を含む）

【消化器の症状】

- ☐ 持続する強い
（がまんできない）お腹の痛み
- ☐ 繰り返し嘔吐続ける

1つでもあてはまれば

- ☐ ①ただちにエピペン®を使用する
- ☐ ②救急車を要請する（119番通報）
- ☐ ③その場で安静にする（立たせたり、歩かせたりしない）
- ☐ ④その場で救急隊を待つ
- ☐ ⑤可能なら内服薬を飲ませる
- ☐ ※エピペン®を使用し、10～15分後に症状の改善が見られない場合は、次のエピペン®を使用する。（2本以上ある場合）
- ☐ ※反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生を行う

緊急時対応カード（記録用紙）

児童・生徒氏名	
---------	--

記録者名									
食べた（摂取など）時刻		年	月	日	時	分			
食べた（摂取など）状況		食べたもの（ 量（							
処置	緊急時処方薬	時 分							
	エピペン®使用	時 分							
	その他								
救急車		要請時刻	時	分	到着時間	時	分		
医療機関		連絡時刻	時	分	到着時間	時	分		
保護者		連絡時刻	時	分					
経過		時刻		内容					
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		時	分						
		その他							